

平成 31 年 2 月 岡崎市文化財保護審議会会議録

開催日時：平成 31 年 2 月 22 日（金） 午後 1 時 30 分～午後 3 時 00 分

開催場所：岡崎市役所西庁舎 7 階 西 702 号室

出席委員：8 名

加藤安信委員（会長）・野本欽也委員（会長職務代理者）・内田尚之委員・
奥田敏春委員・鷹巣純委員・杉坂美典委員・山田伸子委員・渡邊幹男委員

欠席委員：2 名

荻野嘉美委員・杉野丞委員

説明のために出席した事務局職員：7 名

社会教育課：小野鋼二次長・柴田英代副課長・菅沼貴之岡崎城跡係長・岡山
幸男主任主査・山口遥介主査・中村雄太主事・中根綾香主事

傍聴者：なし

議事内容

1 諮問事項

- (1) 市指定史跡松平広忠公御廟所（松應寺）の現状変更について
- (2) 市指定天然記念物指定について【非公開】

2 報告事項

- (1) 市指定天然記念物ゲンジボタル（旧額田町区域の河川）の現状変更許可申請について

3 その他

議題及び議事の要旨

1 諮問事項

- (1) 市指定史跡松平広忠公御廟所（松應寺）の現状変更について

【社会教育課説明】

市指定史跡松平広忠公御廟所の土塀等の保存修理を行う。工事内容は前回の審議会で協議した内容から大きく変わっていないが、変更した点としては、瓦の紋を現在と同じ三つ葉葵紋で行うこととなったことや土堤の南辺・西辺の補修を追加したことである。

【質疑応答】

委員：今回の整備は、現状を整えていくというイメージか。

事務局：そのように考えている。

委員：現在の瓦で使用可能なものは再利用するという方針のようだが、新しい瓦を単純に配置すると違和感があるのではないか。瓦は、どのような方針で配置していく予定か。

事務局：現在の瓦も一旦は撤去し、選別した上で使用する。ある程度まとめて使用し、違和感のないよう配慮して再配置する。

委員：土堤の復原で使用する芝の種類は何か。

事務局：野芝を予定している。

委員：門の支え木は、後世に付けられたものではないか。塗装だけではなく、門自体の修理は考えていないのか。

事務局：門自体の修理までは想定してなかった。

委員：門は今回整備する史跡の正面にある。門自体の修理も検討したほうが良いのではないか。

委員：門の修理を考えていないのは、予算的な問題か。

委員：せっかく修理するのだから、工法を検討し、しっかりと整備したほうが良い。

事務局：予算的な問題もある。所有者とも相談し、検討したい。

委員：防草シートは効果があるのか。

事務局：一定の効果があると考えている。

委員：植物が生えない効果のほか、土が流れないようにする効果もある。

委員：今後、看板を作る場合は、今回の現状変更の経緯を記載したほうが良い。現状変更は、毎年出す予定か。

事務局：今回の諮問で一括して許可を得る予定である。大きく変更する場合は、随時、審議会に報告していく。

諮問結果：可とする。

(2) 市指定天然記念物指定について【非公開】

2 報告事項

(1) 市指定天然記念物ゲンジボタル（旧額田町区域の河川）の現状変更許可申請について

【社会教育課説明】

平成30年9月の台風21号によって被災した道路の復旧工事である。災害復旧のため、早急に工事に着手する必要があることや、ゲンジボタルに対する影響は軽微であると考えられたため、事務局で許可を行った。

【質疑応答】

委員：旧額田町区域の河川という範囲は広すぎるのではないかと。限定していくべきではないかと。

事務局：旧額田町では「ホタル」全種を指定していた。岡崎市との合併の際に「ゲンジボタル」に限定した経緯がある。範囲が広すぎる点については、将来的に見直しをしていく必要があると考えている。

委員：ホタルの行動範囲はどのくらいか。

委員：一概には言えない。指定範囲を限定した場合、乱獲される恐れがある。

委員：見直しをする場合は、詳細な調査が必要である。

委員：ホタルの調査は、夜に行く。調査には、実施体制を整える必要がある。

事務局：環境部とも調整しながら、検討したい。

3 その他

(1) 県指定史跡太夫塚古墳の追加指定について

【社会教育課説明】

岡崎市が寄附を受けた太夫塚古墳内の土地について、県指定史跡に追加指定された旨を報告した。

(2) 次回以降の審議会開催について
次回審議会は平成 31 年 5 月に実施予定